

九州管区行政評価局から感謝状



5月23日(水)、鹿児島県県民交流センターで行政相談員の表彰式が行われ、九州管区行政評価局地域総括評価官から牧原信二さん(昇陽)へ感謝状が贈られました。これは、行政相談員として特にご尽力された方へ贈られるもので、牧原さんは平成25年4月から町の行政相談員を務めています。

肝属地区春季畜産共進会が開催



5月15日(火)に肝属地区春季畜産共進会が行われ、本町から10頭の肉用牛が出品されました。肉用牛を1～3部に分けて審査が行われ、中野純治さん(西大原)の「みすず」が3部で1席を受賞されました。また、錦江町田代地区が団体賞を受賞されました。

「認知症」テーマに呼びかけ



5月28日(月)、町文化センターで認知症をテーマにした劇が行われました。これはシルバー人材センターが主催したもので、地元の肝属郡医師会立病院職員などで組織する「南の星座」が鹿児島弁で演じ、会場を沸かせました。劇中では地域での見守りや、早めの受診などを呼びかけていました。

総合交流センター安全祈願祭



5月28日(月)、来年3月完成予定の「錦江町総合交流センター」起工式が行われ、町関係者や建設業者などが参加して工事の安全を祈願しました。中央公民館や保健福祉センター、災害時の避難場所などの機能を集約した総合交流施設です。詳細は本紙15ページで紹介しています。

「副町長と楽しいおしゃべり会」を開催。結果は7月号でご報告。

地域での困りごとやご提案を施策に反映させることを目的に「副町長と女性のおしゃべり会」を開催しました。4月23日(月)に馬場地区をスタートし5月22日(火)の大原地区まで、町内10地区を対象に8か所で、延べ190の方にご参加いただきました。女性ならではの視点から、町に対する様々なご意見をいただきました。いただいたご意見や対応方針等については、広報誌7月号でご報告します。



一部ご意見を紹介します

- 運転が出来なくなった後の移動手段が不安である。
- 花瀬や神川など観光スポットがたくさんあるので、パンフレットを積極的に配るなどアピールした方がいい。
- 子ども達の教育格差をなくすための取り組みを行ってほしい。
- 廃校を合宿所や飲食店などに活用してほしい。
- 役場に総合案内窓口をつくってほしい。
- 町内は住宅が少なく、家賃も高いため鹿屋に住む人もいる。空き家を借家として活用してほしい。